

枝川小学校

ESSN連絡協議会

今年の開かれた学校づくりは、「ESSN（枝川小学校不登校傾向児童支援サポートネットワーク）」「枝川小学校地域安全推進委員」「保護者による朝読書・読み聞かせグループ」「クラブ活動・授業への協力者」「土曜子ども会」「PTA 3役」と学校からの代表4名で「学社融合推進委員会」を開き、相互に連携をとりながら進めています。

ESSNでは、6月1日・13日・8月25日・10月27日・12月8日に連絡協議会・保護者交流会を5回開きました。2月9日には6回目を開く予定です。はじめは、昼間に開いていましたが、要望により、12月は夕方の6時30分から行いました。

毎回、最初の30分間は、推進委員さん（枝川地域の方等）による会をもち、不登校傾向の児童だけにとどまらず、子どもの課題にかかわる話をしました。地域にいる児童支援に関わった経験のある方4名が推進委員を引き受けてくださっていますが、毎回いろいろな意見をいただき、指導の参考になることが多くありました。

その後に行う保護者交流会では、2名から5名へと回を重ねる中で参加人数が増えています。毎回、本音も交えた中味の濃い話し合いができたと思います。我が子のことで悩む親という立場で考えれば、もっとたくさんの保護者に参加してほしい気持ちもありますが、この会が続いていることが大切なことだと考えます。

学校として何ができるか、地域ができることは何か、そして保護者はどうすればいいのか。心を開いて話し合うことができつつあると思います。

勝賀瀬小学校



今年度後半の話題の一つに、初心者パソコン教室があります。

学校内外からの声により、開かれた学校づくりの取り組みとして構想をあたためていたものです。対象は地域の方で指導は学校職員がします。「5の日の学校応援団」と名付けた活動の一環でもあります。

念願かなって11月15日に開講することができました。これまで5回実施し、平均2～3名の方が参加してくれました。ご自分のノートパソコンを

持ち込む方もいます。

まず初回は、「パソコンにさわろう」とパソコンになじむことから始まりました。指導陣がほぼマンツーマンで関われますので、きめ細かな対応ができました。マウスを動かすことや入力画面を立ち上げキーを打つてみるどころあたりまで、たっぷり時間をかけて慣れていただきました。

「5の日の学校応援団」は、午後2時から児童らとグラウンドゴルフを楽しみ、午後3時10分からパソコンを学ぶという流れとなっています。

指導の教員は、初めて触れる方への教え方がとても勉強になると言い、指導方法の貴重な研修ともなっています。文章をつくる・保存・修正などを自力でできる方もいるので、何か一つ形になる物を残す予定です。

今後は児童との関わりのあるパソコン教室になるといいなと思っています。

